



研修の様子を紹介します

障害に応じたICT活用研修

本講座は、障害のある子どもの学びを広げるため、障害に応じたICT機器やICT教材の活用方法について理解を深めることを目的に実施しました。

障害種別に、各分野の第一線で活躍されている5人の先生方から、障害のある子どもたちが主体的に学びに向かうためのICTの効果的な活用方法等についてご講義いただきました。

オンライン型で、かつ、校内研修等にも活用してもらえるように1台の端末から複数名の受講も可能な形式で実施したところ、のべ400人を超える多くの先生方に受講いただきました。

受講者の声

子どもたちが生き生きと学べるために道具を選んだり環境をつくり出したりすることがいかに大切かを学んだ。

ICTに対して少し苦手意識があったが、講師の金森先生の“うまくいかないことを楽しむ”のお言葉を胸に、実践を積んでいきたい。



講座案内ポスター

要請訪問の紹介

今年度は、12月末時点で34件(昨年比1件増)実施しています。主な依頼者は教育関係研究会等の団体(18件)が多く、主な支援内容は以下のとおりです。

	社会	外国語	商業	道徳	同和教育	教育相談	特別支援	健康教育
件数	3	6	1	2	2	8	8	1

全体件数は昨年度と同様ではありますが、オンラインでの支援を10件(昨年比7件増)実施しました。今後も、支援内容や支援方法も含めて、教育現場の要請に幅広く対応していきたいと考えていますので、事前に担当者との十分な打合せをお願いします。

要請に応じ、研修を支援します。当センター指導主事が学校等を訪問し研修会や研究協議会で指導や助言をします。(旅費は依頼者が御負担ください) 詳細は、右のQRコードからアクセスをお願いします。

